

文例集の使い方 （＋タイ語手紙の書き方に関するヒント）

- 文例集は基本的に丸写しで使えるようになっていますが、何を書いているかわかったほうが安心ですし、応用もききます。引用する文で使われている単語の意味を単語集で確認してください。それだけでずいぶん安心して書くことができます。
- 単語集は文例集に出てくるすべての単語を収録し、文例中での用法に対応する最低限の日本語訳をつけました。タイ語を知らなくても引けるように、通常のテキストに見られるような子音表順（アルファベット順）ではなく、文例集の各文に振られている番号に対応して、登場順に並んでいます。
- 場合によっては、熟語等も一語として扱っています。また、タイ語学習が目的ではないため、発音については一切ふれていません。意味は文例中での用法に限定してあります。
- よく似た文字が多いので、慣れないうちは1文字ずつ文字見本と照らし合わせながら書いていくと良いでしょう。微妙な違いがわかるよう、文字見本では特に大きく表示しました。
- タイ語フォントには Windows の DilleniaUPC というフォントを使用しています。細くて飾りが無いため、ペンや鉛筆で真似しやすい書体です。
- この文例集では単語（場合によっては熟語）を識別するために分かち書きしてありますが、タイ語では続けて書くのが普通です。ただし、改行は単語の途中でしないようにしてください。句読点はありません。
書き間違いを防ぐためには、「分かち書き」＋「一文ごとの改行」がかなり有効です。
- タイ語は書き手の性別で使い分ける単語があります。(3)(4)の語は選択して使ってください。
- タイ語と英語・日本語を混用する場合は、翻訳していただく方にわかりやすいように工夫しましょう。できれば、現地語を使う際は現地語だけで手紙が完結するのが望ましいと思います。
- 手紙に日付を書くときは日、月、年の順に書きます。月名は英語のように個別の名称がありますが、略号を用いたり、数字で表記することも可能です。年は西暦に543を加えた仏暦が使われます。2007年1月20日は下のような書き方が可能です。
「20 เดือนมกราคม 2550」、「20 ม.ค. 2550」、「20 / 1 / 2550」
もちろん、年号に西暦を用いても差し支えありません。「20 . 1 . 2007」
- 親しい者同士では手紙の書き出しは「こんにちは」で十分です。タイ語では สวัสดี (สวัสดี/ค่ะ) ですが、あいさつ全般で使える言葉で、英訳されたチャイルドからの手紙にもそのまま書かれていることがあります。スポンサーがタイ語ではなく、英語で手紙を書くときでも、書き出しに「Sawasdee krap」（男性の場合）「Sawasdee ka」（女性の場合）と書いておけばわかってもらえます。
- タイでは4月にタイ正月（ソンクラーン）が盛大に祝われますが、1月1日の新年を祝うニューイヤーカードやキリスト教のクリスマス祝うカードを送っても問題はありません。日本の宗教的な話題にも寛容です。また、バレンタインデーにカードを送っても喜ばれます。
- タイ文字は慣れないと大きさが不揃いになったり、波うったりします。簡易練習帳として楽譜用の五線紙を使うこともできます。下書きや手紙の控え用に一冊用意しておくと、大学ノートの標準罫を使うよりもずっと書きやすくなります。

- 出した手紙の控えを作っておくと便利です。ワープロソフト等にカット＆ペーストし、日本語文と一緒に保存しておけば、何度も同じ文章を書き送るという失敗を防げます。
- 日本ではペンは黒いインクを使うのが普通ですが、タイでは黒を嫌います。ボールペンを使うときは、青インクのものを用いてください。

■ 参考書籍

「すらすら読めてくるくる書ける タイ文字練習プリント」

クリエンクライ・ラワンクル著 小学館発行 2006年

タイ文字に関する参考書としては申し分なく、CDと文字カードが付録に付いています。タイ文字で表す五十音表が載っているので、スポンサーのお名前をタイ文字で書くこともできます。簡単な会話や文法の解説もあり、タイ語学習の入門書として最適です。

「タイ文字入門」

ポンパン・レプナグ著 T L S 出版社発行 2002年

活字体のほかにくずし字も練習できるようになっているので、手書きでタイ語手紙を書くときに使えます。

「誰でもすぐに書けるタイ語手紙」

ポンパン・レプナグ著 T L S 出版社発行 1998年

手紙の文例集です。タイ語の手紙書きに関する数少ない参考書です。

このほかにも、最近では旅行用の会話集など、多くのタイ語テキストが発売されています。また、パソコン用に、無料で使えるタイ語辞書ソフト、オンライン辞書などがあります。

ご使用にあたって（お願い）

プラン・ジャパンのスポンサーがチャイルドに手紙を書く際に使われる限り、自由に使用していただいて結構です。ご連絡をいただく必要ありません。

この文例集に関するすべての権利はオリジナルの文例集とともにプラン・ジャパンにあるものとします。したがって、私のサイト以外への転載についても私には許可の権限が無いと思ってください。ただし、オリジナルからの改変内容についての責任は私、中内（daarok@hotmail.com）にありますので、誤りのご指摘、ご意見等はプラン・ジャパンではなく、必ず中内までお願いします。

更新については適宜、プラン・ジャパンのチェックを受けながら、おこなっていくことになります。私自身はタイのチャイルドと交流するために、何とかタイ語を身につけたいと思っていますが、タイ語を習ったことも、タイに住んだこともありません。ぜひ、タイ語に堪能な方のチェックをお願いいたします。

この文例集は、地元岡山のスポンサーの会で「手紙書き会」を行なうことになった際、プランの文例集が見つかったことから作成を思いつきました。タイ語以外でも、ラテン文字を使わないアジアの言語等では、もっと書き写しにくいものがありました。

スポンサーの皆様にはそれらの言語に詳しい方もいらっしゃると思います。なかには手書きの文例をワープロで清書するだけで格段に使いやすくなりそうな言語もあります。

プランの文例集は、すべての活動国の言語が掲載されていることに大きな意義がありますが、より使いやすいものにしていくためには多くの方のご協力が必要だと思っています。

特に、独自の文字を持つアジア各国語において、同様の作業をおこなってくださる方の参加を強く希望いたします。